

# § 3-3. 生命環境科学科

## 1 年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

### 別表 年次別授業科目表

### 〔工学部〕各学科共通 教養教育及びスキル教育科目表

#### ■教養教育科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目)

学科目	年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文社会分野	日本国憲法	2	日常生活と法	2			比較文学	2	
	産業と法	2	コミュニケーション基礎	②		認知心理学	2	現代倫理	2
	九州学	2			日本近代思想史	2			
	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2			
	海外事情	2							
	日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2					
自然科学分野	生命科学	2	物質と化学	2	地球と環境	2	自然と科学	2	
保健体育分野	健康運動学	②			健康科学	2	スポーツ科学	2	

#### ■スキル教育科目

学科目	年次	1年次		2年次		3年次		4年次								
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
外国語分野	英語初級Ⅰ	2	英語初級Ⅱ	2	英語初級Ⅲ	2	英語初級Ⅳ	2	ブラッシュアップイングリッシュⅠ	2	ブラッシュアップイングリッシュⅡ	2	ブラッシュアップイングリッシュⅢ	2	ブラッシュアップイングリッシュⅣ	2
	英語中級Ⅰ	2	英語中級Ⅱ	2	英語中級Ⅲ	2	英語中級Ⅳ	2								
	英語上級Ⅰ	2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級Ⅳ	2								
	中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2					フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
	韓国語Ⅰ	2	韓国語Ⅱ	2					ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
	日本語Ⅰ	2	日本語Ⅱ	2												
保健体育分野												生涯スポーツ学		2		
情報工学分野	コンピュータリテラシー	2														
キャリア形成分野	キャリア形成	②														
	日本語表現	2			就業実習	2			就業実習	2						

- [注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。  
なお、自然科学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。
- [注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上（うち英語8単位を含む）、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。
- [注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択科目である。
- [注4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入れ替って開講されることがある。
- [注5] 「日本事情Ⅰ」、「日本事情Ⅱ」、「日本語Ⅰ」及び「日本語Ⅱ」は留学生のみ受講できる。
- [注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。
- [注7] 協定校（日本語センター）からの留学生は、  
①初年次前期の「日本事情Ⅰ」及び「日本語Ⅰ」を履修し、7月実施の日本語能力試験（N2以上）を受験しなければならない。  
②日本語能力試験（N2以上）に合格しなければ、「日本語Ⅰ」の単位を認定しない。  
③日本語能力試験（N1）に合格しなければ、「日本語Ⅱ」の単位を認定しない。  
④日本語能力試験（N1）に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

§ 3-1 工学部教育方針  
§ 3-2 電子情報工学科  
§ 3-3 生命環境科学科  
§ 3-4 知能機械工学科  
§ 3-5 電気工学科

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕生命環境科学科 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目、◎印はコア科目)

年次 学科目	1年次		2年次			3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	基礎数学 ②	応用数学 ②							
	解析 I ②	解析 II ②	統計解析 2	数値解析 2					
	基礎物理学 ②	物理学 I ②	物理学 II ②	生物物理学 2		物理学実験 2			
	基礎化学 1								
	化学 I ②	化学 II ②							
	科学実験入門 ②	化学実験 ②*							
	基礎生物学 1	生物学 ②	生物学実験 ②*						
			地球科学 2(※)				地球科学実験 2		
		コンピュータ言語 ②							

[注1] 「基礎数学」、「解析 I」、「解析 II」及び「応用数学」は習熟度別にクラス分けして行う。

■専門教育科目

年次 学科目	1年次		2年次			3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期
生命環境科学 基礎科目	生物資源 利用学概論 ②	環境エネルギー 資源化学概論 ②	物理化学 I ②	物理化学 II ②	生命環境科学 ゼミナール I ①	生命環境科学 ゼミナール II ①			
			物理化学 I 演習 ①	物理化学 II 演習 ①	無機化学 ②*	物理化学 III ②			
			分析化学 ②*	機器分析化学 ②*					
				環境分析化学 ②*					
				機器分析化学 実験 ②*					
			有機化学 I ②*	有機化学 II ②*					
			環境科学 I 2	環境科学 II 2					
			生物化学 I ②*	生物化学 II ②*					
生命環境科学専門	物質系科目					エネルギー 循環工学 2	電気化学 2		
						固体物質工学 2	無機固体化学 2		
						資源循環工学 2	環境浄化工学 2		
	物質生命 共通科目					化学工学 I 2	化学工学 II 2		
						環境物質 工学実験 2	ナノマテリアル 化学 2		
						高分子化学 2(※)	コロイド化学 2(※)		
生命系科目					応用微生物学 2(※)				
					分子生物学 2(※)	遺伝子工学 2(※)			
					生物有機化学 2(※)	酵素化学 2(※)			
					栄養化学 2(※)	食品学実験 2(※)			
					環境生命 工学実験 2				
食品基礎科目				微生物学 2*		食品微生物学 2*			
					食品化学 2*	食品分析学 2*			
					食品衛生学 2*	毒性学 2*	環境衛生学 2*		
アドバンス科目		先端環境 科学演習 2 ②	先端環境 科学実験 I 2 ②	先端環境 科学実験 II 2 ②	技術英語 2 ②	生産技術倫理 2 ②			
卒業研究							卒業研究	⑥	

[注1] 「基礎数学」、「解析 I」、「解析 II」及び「応用数学」は習熟度別にクラス分けして講義を行う。

[注2] コア科目のうち、専門基礎科目の「科学実験入門」及び「化学実験」4単位を取得しなければ3年次の科目を履修することはできない。

[注3] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が生命環境科学基盤コース、下段が生命環境科学アドバンスコースである。

[注4] \*印および(※)印の科目は、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成課程」に関わる必修科目及び選択科目である。

[注5] 生命環境科学専門のうち、物質系科目または生命系科目より「環境物質工学実験」または「環境生命工学実験」を含む10単位以上を取得し、合計20単位以上を取得すること。

